

第173回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時場所

日時：2026 年 9 月 2 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア

2 参加者 10 人

3 会議内容

<新規発案>

（1）宮沢賢治が愛したクラシック音楽～銀河鉄道の夜（11月開催予定）

【概要】

・2026 年は、宮沢賢治生誕 130 年であり。オーボエの認知度向上と文学への新しいアプローチとしてオーボエで楽しむ大人の読み聞かせコンサートを開催する。

（2）てっちゃん集まれ（11月開催予定）

【概要】

・過去に関西の鉄道の歴史好きを対象としたイベントを実施してきた。参加者が集まらない現状を打開するため、鉄道好き全般を集めるイベントを開催する。車両好き、乗り鉄、貨物好きなどを集めグループディスカッション方式のイベントを開催する。

【意見】

・時間を区切って、あるテーマに沿って話をするような形式ですか。

→司会進行は、私がしますので、最初は話を振っていき、後は自由に話してもらうように進める。

（2）おとなのクリスマス in ことば蔵～歌とピアノと一人語り『賢者の贈り物』

（12月開催予定）

【概要】

・昨年は『曽根崎心中』で一人語りを開催した。今年は、クリスマス気分を盛り上げるということで歌とピアノ演奏を交えて『賢者の贈り物』を一人語りで開催する。

【意見】

・一人語りとはどういったものですか、朗読との違いは。

→本を持たず立って身振り手振りを交えて、セリフではそれらしく語ります。

・歌とピアノは、BGMのような感じでの演奏ですか。

→一人語りはすべて暗記して行うので、正味の時間は30分程なので、少しはBGMとして演奏するが、BGMではなく各々時間をとって演奏する。

- ・声の関係の事を過去にされていたか。

→昔に少しお芝居をしていた。

(4) 認知症対策方法～ヘルスケアとマネーケア～(10月開催予定)

【概要】

・健康なシニアライフを考えるための情報提供と、なってしまった時の経済的リスクの回避方法について、情報を提供する。

- ・スケジュールが付けば認知症予防の話を専門の医師より講演を行う。

- ・認知症と診断された場合に資産凍結されることが有り生活費や治療費に困る場合があり、その対策などを紹介する。

【意見】

- ・認知症が進んでいるか知るにはどうしらい。

→かかりつけ医に相談ください。

- ・対象を40以上にすると、親の事で参加したい人が参加できなくなるのでは。

- ・イベントタイトルが難しいのでわかりやすいものにすると参加者が増えるのでは。

→検討します。

<イベント報告>

(1) 8月6日(木)伊丹の民話を聞いてものづくり体験をしよう

伊丹の民話「すもう狸」「と二蠟丸」をデジタル紙芝居で上演し後に操り人形つくりのワークショップを行った。久しぶりに定員20人がすべて埋まった。工作は難しかったが父兄に協力で完成させることが出来た。

- ・小さいお子さんと関わることでピュアな気持ちになれるような気がするので、手伝いをすることは出来るか。

→色々なところで活動しているので機会はある。

(2) 8月8日(土)『ありがとう』を残すための相続セミナー

相続にまつわる三つの勘違いというテーマで講座をおこなった。24人枠で14人の参加だったが、参加者の反応も良く楽しくできた。また為になったとの意見も多くあり、講座の後の個別相談も多くの方に来ていただいたことから、同じ内容でまた講座をしてもいいと考えている。

- ・個別相談では回答に窮する話はなかったか。

→講座の中での理解ができなかった事から、実際の相続で遺留分の相続で公平な分配を望む問題の話もあった。

(3) 8月23日(日) 海外紀行～世界あちこち(スリランカ・インド老々ツアー)

昨年からはじめて10回目になる。インドに旅行したい方は多くないこともあり参加人数は20人だった。アンケート結果は良かったとの意見が多く、参加者の反応は良かった。

・アンケートではなく参加者の生の反応はどうだったか。

→質問は多かったので、インドについて知りたいと思っている人はいるような気がする。

(4) 8月26日(水) 漫画を語ろう(テーマ「海」・「夏休み」)

参加者は5名で、夏休みにちなんだテーマを選んだが、今回の話題には影響がなかったようだ。お盆に手塚治虫の『紙の砦』を原作としたドラマ『手塚治虫の戦争』が放送されていたことや水木しげるで盛り上がった。

・協道にそれる楽しさがあるが、今回は如何だった。

→バラバラな話題で盛り上がった。

(5) 8月6日(木) 第2回ことば蔵素人演奏会

1人のキャンセルがあって5組の方が参加された。キャンセル枠で司会者も演奏したところ、司会者も演奏するのかと受けた。どんな演奏があるか分からないのが良いところで、今回は3オクターブ音が出せるオカリナが登場した。また、クラシックギターで参加された方は、凄く練習されたのが分かった。練習しても発表場所がない人にとって良いイベントになっていると思うので続けていたい。

・参加人数は何人ですか。

→42人です

(6) オーボエで楽しむ! 夏休み読み聞かせ親子ミニコンサート

クマのプーさんが1926年に発表され、今年で100年になるメモリアルイヤーだったので、オーボエの効果音や音楽と読み聞かせのイベントを行った。35人の参加者があり市外からの参加者もあった。参加者からは、珍しいイベントで楽しかったとの意見を頂いた。

4 次回の運営会議 2026年10月7日(水) 18:30～ことば蔵1階交流フロア